

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L: 矢古宇、西、黒岩

2. 山城/ルート 比良山系 武奈ヶ岳

3. 交通手段 公共交通機関 (電車・タクシー)

4. 行動記録

<入山日: 2022年1月22日(土) 下山日: 2022年1月23日(日)>

第1日 JR兵庫 → JR三宮 7:20 (西さん待ち合わせ) → (新快速敦賀行) →
大阪 7:43 → 京都 8:14 (湖西線乗り換え) 8:18 →
比良 8:58 (黒岩さん待ち合わせ) 比良駅 9:10 → (タクシー) →
イン谷口手前 9:25 → イン谷口 9:45 → 大山口 10:10 → (ダケ道)
→ カモシカ台 11:15 → 北比良峠 12:35 → 八雲ヶ原 13:10
テント設営 14:15 → コヤマノ分岐手前 15:30 → 八雲ヶ原 16:00
第2日 起床 4:30 → 出発 6:00 → コヤマノ分岐 7:15 → 武奈ヶ岳 7:40
→ コヤマノ分岐 8:20 → 八雲ヶ原 9:00 (テント撤収) 10:00 →
北比良峠 10:20 → カモシカ台 11:15 → 大山口 12:00 →
イン谷口 12:20 → 湖西道路下 12:45 → (タクシー) → 比良駅 12:55

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

- ・当初は北稜ルートを予定していたが、積雪量が多いこと、マイナールートのためトレースがなくオールラッセルの可能性があること、エスケープルートがないこと、途中撤退時には登山口から比良駅までのバスの本数が少ないこと、から、一般的なイン谷口からダケ道ルートに変更した。
- ・時間短縮のため、比良駅から入れるところまでタクシーを利用した (1,040円)。
- ・イン谷口の比良山遭難防止対策協議会の方に話を聞いたが、数日間積雪があり、北稜はほとんど入山する人がいないこともあり、トレースはないであろう、とのことだった。
- ・積雪量が多いが、メジャールートのため、トレースがあり歩きやすかった。ダケ道途中からは男性パーティーがトレースをつけていた。北比良峠から八雲ヶ原まではトレースがなく、西さんが八雲ヶ原までトレースを付けた。
- ・テン場となる八雲ヶ原に早めに着いたため、武奈ヶ岳までの登山道の下見をした。金糞峠経由で武奈ヶ岳に登頂し八雲ヶ原に下山する人のトレースがしっかりついていた。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

- ・特にない

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

- ・特にない

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・特にないので、感想を記します。

【西】

今年の雪山、初のテント泊は風もなく、とても快適だった。

整地して、テントを張って、竹ペグで固定。トイレづくりや、雪から水を作る作業。「ああ、そうだったな・・・」と、懐かしく感じた。久しぶりの比良。真っ白い雪はとてもきれいだった。

1 日目にちょっとルーファイと、ラッセルをした。やっぱり楽しい。まだ足跡がついていない雪の上に、足跡をつけていく。緊張とわくわく感が入り混じった感覚が好きだ。

2 日目、武奈ヶ岳を目指す途中で見た朝焼け、日の出。きれいな朱。その朱にみんな染まってく。そして、武奈ヶ岳の頂上は、360 度のパソラマで、当初予定だった武奈ヶ岳北稜もよく見えた。私たち以外に誰もなく、静かなゆっくりとした時間が流れる。

日常とは違うこんな時間が過ごせるのは、とても贅沢だと思う。また来たいと思う。

女子 3 人の楽しいゆったり山行だった。

【黒岩】

初日はラッセルかと思いきや、北平峠を越えたあたりまで先行の男性パーティーさんもしくは前日の登山者？が道を切り開いてくれていて助かりました。そこから先はルートファインディングして道を切り開き進みました。

途中、YouTuber のみそしるえがおさんに会い、興奮しました。

雪山テント泊は今まで 3 回ほどしかしたことがありませんので、今回の山行はとても勉強になりました。西さんがスコップでできばきとトイレを作ってくれたり、矢古宇さんが、テントにフライをかけるなりすぐに竹ペグを埋める穴をザクザクと雪をスコップで掘ってくれてとても頼もしかったです。雪山では冷えるのでなるべく手早くテントの設営をしなければならぬと思いますが、私はまだまだモタモタしていて、これから勉強が必要だと感じました。

八雲ヶ原には他にも 5 組ほどテント泊の方がおられました。騒ぐ人もなく風もなく静かでした。

テント泊の翌日は八雲ヶ原から武奈ヶ岳に登りました。坊村、御殿山側から登るのと違い、始終琵琶湖を眺めながら登ることができ、とても展望がよくて最高の登山でした。

特に琵琶湖上に朝日が登る時、言葉に言い表しにくいですが、透き通ったオレンジ色に空が染まったときは感動しました。

頼もしい先輩二人に守られ、とても楽しく穏やかな山行でした。

矢古宇さん、西さん次は北陵リベンジお願いいたします。

【矢古宇】

10 年前にラッセルで苦労した北稜に挑戦！と思ったが、女子 3 人でもあり、積雪量が多いという情報で断念し、一般ルートからの武奈ヶ岳に変更した。

雪の武奈ヶ岳は数年ぶり。雪は多いが、トレースができており歩きやすかった。北比良峠から八雲ヶ原まで、西さんがガシガシ歩きトレースをつけ、頼もしかった。

2 日目、出発が出遅れたかと思ったが、樹林帯に入る前に朝日を拝むことができ、タイミング的にはばっちり！だった。朝焼けの空、白い雪を照らす朝日の淡い茜色がきれいだった。

武奈ヶ岳山頂から見た北稜はやはりトレースもなく。でも、リベンジしてみたいと思う。

比良駅到着後、まだやっているのだろうか？と、前の会でよく立ち寄っていた駅前の「一休」をのぞいてみた。多少お年を召されたおじいさんとおばあさんが出迎えてくれた。いつものおでんとワンカップの熱燗が冷えた体に染みだした。大根のお土産付だった。

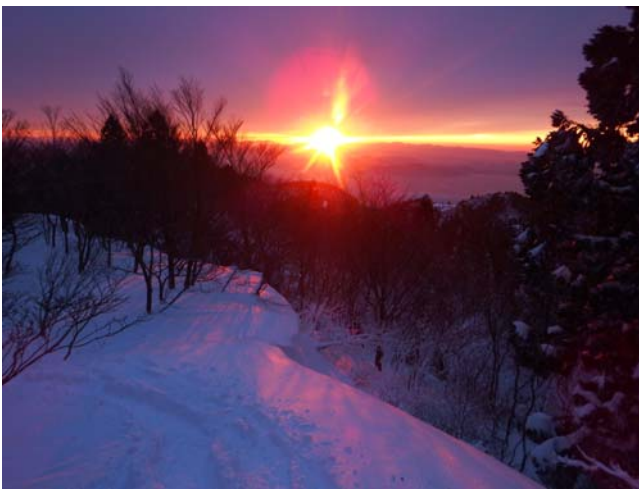
女子 3 人、自分たちのペースで歩き、楽しい山行となった。ありがとうございました。



カモシカ台



北比良峠



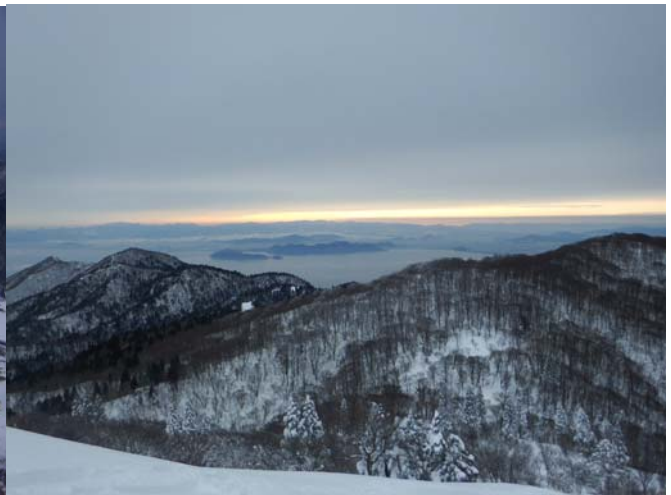
日の出と朝焼け



武奈ヶ岳山頂



山頂から北稜方面はトレースがない



幻想的な琵琶湖上の雲？

報告者氏名：矢古宇

2022年1月31日